議会だより ここのえ

No.132
2021.1.15発行

丑年（ことし）のかお

●特集　今年７回の臨時会　開催 …… P.7~8
●わたしのひとこと …… P.19
野上・重原　高倉　祐仁さん　　飯田・中村下一　冨田　絹子さん
●バトンをつなぐ／議会クイズ …… P.20

第4回定例会

12月4日～18日（15日間）

一般会計補正予算（第11号）

補正額　16億9,433万8千円

補正後の額　127億5,282万9千円

◆ ピックアップ ◆

歳入

国庫支出金　3億8,544万円

- ↑・公共土木施設災害復旧費　4億9千万円
- ↓・特定防衛施設周辺整備調整交付金　△7,268万円
  （米軍の訓練計画に日出生台が予定されなかったこと等）
- ↓・社会資本整備総合交付金　△3,215万円
  （7月豪雨災害対策優先のため次年度へ）

等

歳出

災害復旧費　18億6,201万円

- ↑・農林水産業施設等復旧支援事業費補助金　1億969万円
- ↑・農地災害復旧費　10億4,897万円
- ↑・道路橋りょう補助災害復旧費　8億1,097万円
- ↓・特定防衛施設周辺整備事業　△9,300万円
- ↓・社会資本整備総合交付金事業　△5,400万円
- ↓・小学校施設工事費（飯田小工事次年度へ）　△4,000万円

等

（△はマイナスです）

繰越明許費

翌年度に繰り越して使用することができる経費（繰越明許費）内訳

（単位：千円）

款	項	事業名	金額
3 民生費	1 社会福祉費	保険福祉センター空調更新事業	154,000
6 農林水産業費	1 農業費	農林水産業施設等復旧支援事業	109,698
11 災害復旧費	1 農林水産業施設災害復旧費	農業施設災害復旧事業	1,240,000
11 災害復旧費	1 農林水産業施設災害復旧費	林業施設災害復旧事業	9,618
11 災害復旧費	2 公共土木施設災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業	800,000

第４回定例会議案一覧

	番号	付託	案　件　名	結果
議案	68	総建産	大分県退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	可決
	69		長者原オートキャンプ場の指定管理者の指定について	
	70		督促手数料及び延滞金条例等の一部改正について	
	71		九重町特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例の制定について	
	72		国民健康保険税条例の一部改正について	
	73		堆肥舎施設の譲渡について	
	74	無	令和２年度九重町一般会計補正予算（第11号）	
	75		令和２年度国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	
	76		令和２年度水道特別会計補正予算（第３号）	
	77		令和２年度年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第３号）	
	78		令和２年度介護保険特別会計補正予算（第２号）	
	79		令和２年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	
陳情	5	総建産	桂川改良復旧工事を求める陳情	採択

（注）全員一致の場合は「可決」または「否決」と記しています。可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せます。

本会議質疑

佐藤　明郎

Q 支障木伐採の予算が計上されているが、支障木の処理は、所有者の責任で行うのが基本ではないのか。

A 基本的には所有者責任であるが観光地の景観保全のため予算計上した。

Q 各種特別会計へ一般会計より繰入金がある中、一部分のみ不用額を一般会計へ繰り入れる根拠は。

A 玖珠町との行政事務組合にかかる経費が対象。

増田　裕子

Q 百年の杜整備事業費11万９千円の詳細と今後の見通しは。

A ７月豪雨による倒木等を処理する。今後森林育成に関してはしっかり整備しながら、観光振興については地元観光協会や旅館組合と協議し進めていく。

麻生　良典

Q 総務管理費のシステム導入委託の目的と減額率は。

A 特別定額給付金の通知に係る作業で予算３００万円であったが実績に基づき約30％減額した。

Q 納税組合育成交付金50万円減額の理由は。

A 税収が減る見込みであるため。組合数の減少ではない。

菅原　美好

Q 町有地整備委託、１２３万円計上されている。足立氏から寄贈された金山の山林の手入れが出来てない。健全な育林にすべきだ。

A 金山については、今回災害等あり、被害木の整理も行う。全般的な町有林の関係は、来年度また考えて行きたい。

選挙管理委員及び補充員を選出

（選挙管理委員）

矢野　福美さん（南山田・中板）
馬場　康雄さん（飯田・無田下）
進　　一富さん（東飯田・川下南）
高倉　町子さん（野上・中央二）

（補充員）※委員の欠員により名簿順に委員に就任。

順序１：日野　雅博さん（野上・中央三）
順序２：野木　敦子さん（飯田・荻釣下）
順序３：松原喜一郎さん（南山田・潜石）
順序４：友松　公代さん（東飯田・川下南）

新年のごあいさつ

議長　土井眞一郎

謹んで新年のお慶び申し上げます。

平素より、九重町議会に対しまして暖かいご指導等ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は全国的に感染拡大した新型コロナウイルスの影響や7月に発生した大規模な豪雨災害により、九重町において甚大な被害がでました。議会としても一日も早い復旧復興に向けて行政と一体となり災害復旧を最優先として取り組まなければならないと思っています。

また、感染症等による社会経済活動の縮小に伴い町税や地方交付税等が大幅に減少する懸念、社会保障関係費や老朽化が進む公共施設の改修・修繕等に係る経費が増加する見込みの中で、議会としても財政状況を注視していかなければならないと思っています。

厳しい情勢もありますが、地域住民の生活安定・福祉の向上を念頭に置き、町民皆様の声を町政に反映させ、活気のある町づくりを目指したいと思います。

新しい年が素晴らしい一年になりますよう皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

九重町議会　11名でがんばります！

小川克巳氏が10月31日をもって議員辞職されました。

したがって、九重町議会は、次の町議選まで現在の11名で運営します。

欠員の充当	・選挙後３ヶ月以内	次席繰り上げ当選
補欠選挙	・定数の６分の１以下	町長選時に補欠選挙（九重町議会では、２人以下）
	・定数の６分の１超	50日以内に補欠選挙（九重町議会では、２人超）

と公職選挙法で定められています。

小川克巳氏　県議会議員補欠選挙での当選おめでとうございます。

これからは県議として、玖珠郡と大分県のためにご活躍ください。

議会クイズ

（答え）　③特に決まっていない（フリー）です。

議員は役場の特別職の公務員で、「雇用」ではないので、基本の勤務時間や社会保険等はありません。休日や夜間でも、必要に応じて働きます。

なお、どれだけ働いても報酬は一定です。

総務建設産業常任委員会 審査報告

議案 6件　陳情 1件

特定防衛交付金の基金を制定

特定防衛施設周辺整備調整交付金の使途について道路や建物などの公共施設以外、いわゆるソフト事業も交付対象とする法改正が行われました。

これに伴い、交付金を有効かつ柔軟に活用するため、基金条例を設け、次年度以降の財源確保を図ることとなりました。

当面は子ども医療費と集団検診事業を予定しています。

昨年2月の米軍による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練

日出生台、米軍訓練計画に予定されず

今年度の沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練は東富士演習場（静岡県）及び北富士演習場（山梨県）での実施となり、日出生台演習場における米軍実弾射撃訓練は実施されませんでした。

なお、この決定を受けて、予算化されていたSACO対応分8,100万円相当が12月議会において減額となりました。

畜産施設の譲渡

昭和56年度に農林業同和対策関連事業で、無償で借りた土地に整備した堆肥舎ですが

①耐用年数を経過して長いこと

②使用するには、ある程度の投資が必要なこと

③譲渡に対しては現状のままで譲渡すること

以上を踏まえ譲渡依頼のあった地権者に無償譲渡して有効活用して頂くこととしました。

みなさんからの陳情

下右田区長　牧博氏、重原区長　高倉三八氏からの「桂川改良復旧工事を求める陳情について」は

本来、災害復旧は原形復旧が基本ですが、町道と交差する暗渠は現況規格では対応できないこと、又、県が管理する野上川との合流域の形状も検討が不可欠なことから、執行部に関係機関との十分な協議と地元の理解を得るように意見を付けて、陳情の趣旨は理解できますので採択することとなりました。

現地確認

SACO予算とは

1995年9月、沖縄米兵少女暴行事件をきっかけとした政治運動を契機に設立されました。SACOの目的は、沖縄の人々に与える米軍の影響を減らすためのもので、日出生台の沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練もそのひとつです。

教育民生観光常任委員会　報　告

公共施設の現状

野上公民館

外壁、フロアーシート、空調設備の修繕契約を結んだため、今年度中に工事に取りかかります。

金山地区集会所

昨年の11月に地元の方から土地の寄付を頂きましたので、来年度に実施設計、再来年度に着工の予定で進めることになります。

災害による全壊であったため工事費用の地元負担はなく、全額公費で賄われます。

被災小学校の復旧

野矢小学校

体育館の改修、校舎下の土砂撤去、プールの機械設備の改修に着手します。

野上小学校

プールの機械設備の改修に着手します。

東飯田小学校

プール周辺の土砂は撤去しました。今後、検査を受け完了の予定です。

旧木の葉保育園

野上地区放課後児童クラブ

令和3年度より野上地区の放課後児童クラブが野上小学校内で実施されます。

当該クラブは平成29年度から旧木ノ葉保育園で実施されていましたが、利用者が増加し、かつ小学校からの距離もあり、交通事故や利便性を考慮して野上小学校内で実施することになりました。

校舎内にできた空き教室について、一定のルールのもとでの活用は大変好ましく効果的です。

百年の杜

蛍大橋を渡り宝泉寺温泉街に入って間もなく右手の山の斜面に整備された区域があり、それが百年の杜です。環境保全と観光客の憩いの場として設けられました。

昨年の豪雨により近隣が被災したこともあり、補植や育林による里山整備に注力する予定です。TV番組**“女将たちのおおいた彩発見”**で紹介されたことがあり、地元や関連団体とのより一層の連携により観光活性化に大いに活用されることを期待します。

百年の杜

インフルエンザあれこれ

今シーズンの季節性インフルエンザ患者数は例年に比べ極端に少なく、昨年9～11月は全国で約260人と報告され、一昨年同時期の約0.3%に減少しています。大分県では感染者の報告はありません。水疱瘡など他の感染症も減少しています。1月以降に流行することもあり油断はできません。

原因として、コロナ感染拡大の影響で、こまめな手洗いやマスク着用が日常化したこと、国を越えた移動が大幅に減ったこと、早い時期から行われたワクチン接種等が考えられていますが、はっきりしたことは分かっていません。しかし、3密回避を含めた新たな日常によって、個人の健康管理ができて、同時に医療費の削減につながれば好ましい状況ではないかと思います。

新型コロナについては、ワクチン接種が今年前半から可能だと言われています。接種が始まった国では有効性や副作用が確認されているところですが、治療薬の開発はまだまだ時間が必要な状況です。

我々個々人としては、報道や周辺状況による気持ちの緩みやり引き締めを繰り返すのでしょうが、感染回避の日常が多少なりとも見えてきていますので、習慣化し継続していきましょう。両立はかなり難しいですが、可能な範囲で、経済の活性化にも寄与できる行動も模索したいですね。

臨時会特集

今年7回の臨時会　開催

九重町議会は　コロナ禍・災害復旧時でも教育のデジタル化にGO!!

来年度から全小中学生にタブレット配布準備へGOサイン！

第６回臨時会　令和２年10月16日

令和2年10月16日　第６回臨時会　提出議案

議案番号	件　　名	結果
議案第 64 号	財産取得について	可　決

財産取得について … ちょい足しQ＆A

● 財産取得 っち？　なーし臨時会までして決めんならんと？
➡ 予定価格700万円以上の不動産もしくは動産の購入等については、必ず議会の議決が必要です。
（地方自治法・町有財産条例）

● 取得する財産っち　何？
➡ 今回取得する町有財産の内容は下記のとおりです。
① タブレット475台　② 端末充電保管庫 18台
③ 無線ＬＡＮアクセスポイント16ヶ所　④ 端末管理用ソフト

● 取得するっち　全部でなんぼ？
➡ 取得価格は…総額39,996,000円 です。

★町民の皆様の疑問・質問に応える為 内容を質した議員各位の質問内容を紹介します！

Q　麻生　良典 …… 購入した町有財産それぞれの単価は
A　教育振興課長 …… 入札が一括でありなおかつ設計段階の単価ですが、下表のとおりです

購入品	個　数	単　価	購入品	個　数	単　価
タブレット	475	71,400	充電保管庫	18	※①280,000
無線ＬＡＮ	16ヶ所	1,069,750	管理用ソフト	475	9,000

※① 充電保管庫については、それぞれ単価が異なる為平均単価額を提示しています。

Q　佐藤　明郎 …… 当初5,000万円の予算が4,000万円程度に減額した理由は何か？
A　教育振興課長 …… 当初予定していた機種を変更したことが大きな要因。

Q　佐藤　明郎 …… ９月議会の予算補正後に機種の変更だが支障はないのか？
A　教育振興課長 …… 補正前から変更を検討していたが、機種の吟味に時間を要した為この時期になった。各学校の先生方からも仕様に関して大きな支障をきたす等の意見はなかった。

各々の質疑が終わり

満場一致で可決しました!!

コロナ禍であろうと災害復旧・復興の時期であろうと

子どもたちの将来の為にデジタル化は待ったなし!!

第７回臨時会　令和２年11月27日

令和２年11月27日　第７回臨時会　提出議案

議案番号	件　　名			結果
報告第８号	専決処分の報告及び承認について		理　由	承認
	専決12号	令和２年度九重町一般会計補正予算（第９号）	県議会補欠選挙対応	
議案第 65 号	職員の給与並びに会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について			可決
議案第 66 号	財産取得について			可決
議案第 67 号	令和２年度九重町一般会計補正予算（第６号）			可決

★専決12号 県会議員補欠選挙について

大分県より選挙費として 8,295,000円の委託金受領
報酬・職員手当・需用費等で同金額支出の予算承認

★議案第65号について

人事院勧告を受け職員並びに会計年度職員の給与を0.05％減額することに改正することを可決

★議案第66号財産取得について

主として災害避難所の衛生環境整備の為、大型移動式冷風機12台・小型移動式冷風機12台・送風機34台を11,171,600円で購入することを可決

★議案第67号一般会計補正予算について

令和２年度九重町一般会計の予算額に9,180万円を追加し総額110億5,849万1千円とする補正予算額を提示された

復旧を待ち望む被災農地

これらについて議員が質す！

Q　菅原美好

農地災害復旧費は450件を想定し１億円の予算を立てているが、年度内終了を前提にしているのか？

A　農林課長

農作物の保護育成と次期作営農が目的であり、町内外の事業者の協力をいただき年度内に終了を目指し事業設計している。

Q　菅原美好

被災個所が甚大な数で年度内に100％達成ができない場合の対応が準備できないか。

A　農林課長

要望として承る。

Q　野上香代子

文教施設である野矢小体育館の復旧工事の期間と工期の間の生徒の活動への影響を考えているか。

A　教育振興課長

工期は卒業式に間に合うよう努力する。生徒の活動への影響は期間中に一部あると考えられる。できる限りの配慮をしていきたい。

Q　増田裕子

災害復旧費の追加が、9,000万円以上の補正であることから地区水道・林道・農地の小規模等について詳細説明を求める。

A　建設課長

現在簡易水道の補助申請が24件提出されており、多様な被災状況であることが原因で補正を組んだ。

A　農林課長

農地の小規模災害の申請が400件を超えている。現時点で支出済額は5,700万円に達し、今後12月末までの追加申請を想定して4,000万円の補正を組んだ。
林業作業路については約50件の申請が出ており支出済額が900万円を超えたため1,500万円の補正を組んでいる。

九重町が他の市町村と共同で運営している組合があります。

広域でこんな運営をしています

日田玖珠広域消防組合

日田市・玖珠町・九重町が運営費を負担して日田玖珠の消防業務を行っています。
令和２年度歳入歳出当初予算　1,447,012千円
運営組織は管理者　日田市長であり副管理者　九重町長で職員は組合採用です。
議会は日田玖珠広域消防組合議会として、日田市６名、玖珠町２名、九重町２名を選出して10名で議会運営を行っています。
議長は日田市議長、副議長　玖珠町議長、監査委員　玖珠町副議長です。
予算審議から各地区の消防署の運営のすべてを審議採決します。

大分県後期高齢者医療広域連合

平成20年度から施行された75才以上の高齢者が加入する「後期高齢者医療制度」で、都道府県単位の広域連合で運営されており、大分県後期高齢者医療広域連合は、県下全市町村で構成し、広域連合と市町村が連携して被保険者の資格管理・保険料の決定・健康の保持増進事業等を実施しています。
令和２年度一般会計歳入歳出予算は９億258万円となっており、広域連合長（大分市長）以下市町村からの派遣職員28名で運営され、議会構成は九重町議会選出議員１名を含む26人で議会運営を行っています。

玖珠九重行政事務組合

九重町と玖珠町が運営費を負担して行っています。
町民の皆さんの生活に密着する５つの事業を玖珠郡の事業として行うものです。

	施設名又は事業名	指定管理者等	備　考
1	玖珠葬祭場	㈲さとや葬儀社	火葬場
2	玖珠清掃センター	㈱川崎技研	ゴミ処理場
3	玖珠環境センター	三井環境エンジニアリング㈱	し尿処理場
4	玖珠診療所	野北　慶之助	玖珠耳鼻咽喉科
5	介護認定	雇用職員	認定業務

葬祭場

清掃センター

環境センター

診療所

九重町から３名の職員を派遣しています。

令和２年度歳入歳出当初予算　624,156千円
運営の組織としては、管理者　玖珠町長、副管理者　九重町長であり、事務は両町からの職員派遣と組合雇用職員です。
議会は、玖珠九重行政事務組合議会として、両町より４名の議員を選出して議会運営を行っています。
議長は、九重町議長、副議長は玖珠町議長、監査委員は九重町副議長です。

町政を質す 一般質問

8名の議員が質問

農業分野の将来ビジョンは

…… 平坦部は農地集積や畑地化
中山間地は農業と環境の保全
軽労働化とスマート農業の導入

麻生　良典

耕地面積減少や耕作放棄地増加への対策とその効果は?

麻生　第4次総合計画で掲げた耕地面積減少や耕作放棄地・遊休農地増加への対策と効果は。

町長　農業委員会等で戸別訪問調査や農地利用状況調査を実施中。農業経営等の意向確認の中で農業をやめる方や農地貸与希望者には耕作地放棄や遊休化が発生しないように当該農地周辺耕作者や担い手に紹介している。戸別訪問を早期に実施し未然の発生防止に努めている。

ブランド品や戦略作物の今後

麻生　来年JAが合併するがブランド品や戦略作物への取り組みの見通しは如何か。

町長　町は農業者の営農と生活の向上を図るとのスタンスに変わりはない。所得拡大、農業生産の拡大、地域活性化に取り組んでおり継続する。農業者に対する支援体制をしっかりとしていく。

耕地面積
　令和１年2,000ha　年間10ha減少
耕作放棄地
　平成28年112ha　令和1年139ha
遊休農地
　80ha前後で推移

後継者や担い手
　親元就農は11名　法人雇用は20名超
　次世代人材投資事業では15名が就農

ブランド品や戦略作物
　トマト　出荷数1200t　販売額４億円
　　ファーマーズスクール卒業生７名

ブルーベリー　生産量は減少
　他地域との差別化が難しい
　６次産業化の成功例はある
椎茸　干し椎茸は平成27年以降出荷販売量減少
　“うまみだけ”の拡大を推進中
梨　研修品目とし２名が梨園見学

担い手の確保や育成

麻生　担い手の人材確保や育成、担い手の高齢化に関して達成状況は如何か。担い手の確保はどのようにするのか。

町長　新規事業参入で雇用確保や雇用創出は増加し生産額も期待され、順調に新たな担い手ができている。後継者は地域で農地や集落を守ることが大切。新規就農者の初期投資に対しては年150万円（最大5年間）の補助が有効であったと思う。要件を満たせば中高年やファーマーズスクール卒業生にも補助がある。新規就農者の動機や感想は把握しておらず確認し報告する。

農業分野の将来ビジョンや注力する所

麻生　益々厳しさを増す農業分野で描いているビジョンや注力する点は何か。

町長　平野部と中山間地に分けて考える。谷間は景観に加え自然のダム機能として洪水土砂崩れを防ぐ等食料生産以外の機能を生かす。

　担い手の育成・確保；創意工夫や市場ニーズを取り入れる等農業経営を事業とし高い生産意欲を持つ担い手に農地集積を図る。UIターン希望の方への就農支援も行う。

　中山間地の保持；地域の人と農地問題を解決する方法を話し合う就農スクラムを活用推進している。集落単位で農地図化を行い課題に対する地域での共通認識を図る。

町政を質す 一般質問

大津留　敏加

来年度の予算の考え方について

…… ハード事業は、令和4年までに7月豪雨災害からの復旧工事と防災無線のデジタル化を完了する。来年度の予算は土木事業を抑制する。

来年度の予算の考え方

大津留　新型コロナウイルス・7月豪雨災害で、町の経済に大きな影響があると思われる。ここ数年右肩上がりとなっている経常収支比率と来年度の予算の考え方は。

町長　大規模なハード事業としては、令和2年7月豪雨災害の復旧工事と防災無線のデジタル化を令和4年度までに完了する。土木事業は継続性・緊急性があるものを除き事業を抑制する。将来的な財政負担の平準化を図りメリハリのある予算編成にする。

災害を受けた水田

小規模農地や農業施設の災害復旧状況は

大津留　7月豪雨耕地災害の小規模な農地や農業施設の災害復旧は。

町長　令和2年7月豪雨災害によって被災した農地や農業施設のうち、国の災害復旧事業とならない小規模な災害及び、早急に復旧・仮復旧を行う事業に対して、町が補助を行っている。

飯田こども園の園児

子ども医療費はどうなるか

大津留　大吊橋の施設関係の本年度収入の減少が想定される。大吊橋の収益を子ども医療費等に活用しているが、来年度の子ども医療費の考え方は。

町長　子ども医療費助成事業は、子育て世帯の経済的負担の軽減と子どもの保険・福祉の充実を目的としており、助成事業の継続をする。ふるさと納税の事業区分の中に「子育て支援事業」があり、財源として考えている。

町単小規模農地や農業施設災害の復旧状況

総申請件数	約420件	見込み工事額
負担行為＋執行額	約270件	57,000,000円
書類受付済分	約150件	35,000,000円
新規受付	約 30件	8,000,000円
合計	約450件	100,000,000円

7月豪雨災害、復旧復興への流れは

…… 年内に査定が終わり、実施設計、入札と順次進んでいく

増田　裕子

増田　7月豪雨災害、現在把握している被害状況と復旧の流れはどうなっているか。

町長　住宅全壊7、半壊82、床下浸水99、合計194件である。国の補償対象となった公共施設（河川・町道）約200ヵ所と農地約750カ所の査定が12月中に終わる予定。道路や河川はその後工事発注用の図面等を作成し、入札を経て工事着工に入る。農地災害は1月中に国の補助率が決まってから、同様に随時工事を発注する。

増田　被災者への経済的支援はどのような状況か

町長　応急修理32件、障害物除去2件、国や県の制度として状況に応じ基礎支援金が支給された。加算支援金については現在進めている。また、全国から寄せられた義援金も配分された（18ページ参照）。

被災者支援として町有地の払い下げを!

増田　将来的に住宅を新築したいと希望する被災者に対して、町有地を格安（通常価格の1割程度）で払い下げできないか。

町長　遊休町有等の払い下げに関して準備は進めている。価格等の条件整備は十分検討を深めていきたい。

応急修理された柚木孤立住宅前
（まだ黒猪鹿へは通じてない）

観光・商業の振興策を今後につなげて

増田　5・6月臨時議会と9月定例会において1億9,176 万円補正した新型コロナウイルス対策事業。非常に喜ばれた声も聞く。執行状況と効果は。

町長　生活支援4、感染予防2、経済再活性化5と11 事業に取り組んだ。執行率が 57%と低かった中小企業応援定額給金事業については、宿泊・飲食業は90%申請あったが、小売・卸業が低かった。資金繰りの厳しい時期には有効と判断している。活性化でのキャンペーンでは 4,500 名の誘客を達成し、11 月吊橋入場者数は国内旅行者ほぼ前年度並であった。

増田　災害時のピンチをチャンスに変える意味で、町内業者の実態把握とデータ化に努めてはどうか。

町長　今後につなげていく。

入場回復しつつある吊橋

九重町の強み・吊橋や泉水を自主財源アップの力に

増田　災害復旧は第一だが、今後町の復興に向けて新たな仕掛けを今から具体的に検討してははどうか。例えば吊橋でバンジージャンプ。財源は、ふるさと納税やクラウドファンディングで　具体的な目標を掲げて寄付を募るなど。

町長　新たな投資より、あるものを磨いていくのが重要と考える。

町政を質す 一般質問

佐藤 明郎

町有地施策に民間を活用し経済効率を向上すべき

…… 有効な提案であり、今後検討したい

財政健全化

佐藤　災害復旧最優先で対応すべき中、財政の健全化も町長の方針である。

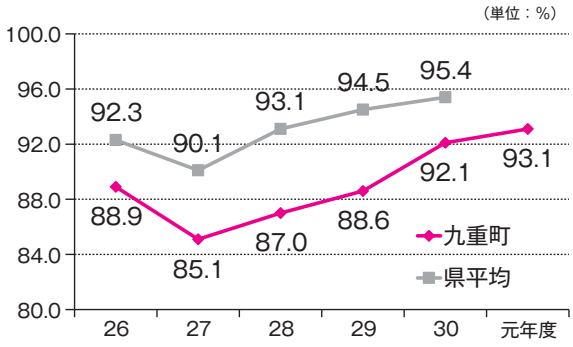
経常収支比率において、過去の答弁で今が償還のピークであり今後改善する見込みとの考えを示したが、現在も同じ見解か。

町長　令和元年度分を下回っていくと予測している、ただし、災害復旧などで新たな起債が必要であり、その分は注視が必要。

佐藤　今後厳しい状況が見込まれる中で、経常収支比率などに対し、町独自の明確な目標値設定が必要ではないか。

町長　30年度に策定した計画に比べると厳しい状況だが、しっかりとした財政運営で改善すると判断している。

経常収支比率の状況　（普通会計）



（常に必要な経費の割合で、値が低い程余裕がある）

第5次総合計画

佐藤　10年後の九重町のあるべき姿を策定する、そして全ての計画の柱となる非常に重要な「第5次総合計画」策定が迫っている。

町民との意見交換を重視するとの事であったが、間に合うのか。

町長　現在、調査研究を進めており、議会、町民の皆様と意見交換できる場を、3月までに、しっかり持ちたい。

ここのえまち総合サービス

佐藤　町100%出資の「ここのえまち総合サービス」は独立して採算がとれる、経営ができる会社にしていくことが理想と考える。

町有施設の中で採算がとれ、町が直営しなくてよいものを思い切って任せてみる、可能性について伺う。

町長　まず出資者として、考えるのは赤字か黒字かの判断。

今後において、新たな展開は必要な事だと考える、協議して幾つか検討材料として提案したい。

遊休地の分譲化

佐藤　住宅用地に乏しい我が町において、町有地の分譲化が行われようとしている。

町が経費をかけ造成まで行う現在の方法に疑問がある、現状のまま分譲地として売却したい旨を、最低売却価格と共に民間業者に示し各社から提案を受ける「プロポーザル方式」であれば、民間業者も潤い、経費削減にも繋がる、今後導入すべきと考える。

町長　計画から設計まで一貫して発注する方法があり、とても有効な手法と考える、今後この方式を検討していきたい。

釣住宅写真

農地災害の復旧 復興の早期実現に向けた施策の改善! 観光産業への新たな追加施策を!

…… 小規模災害の工期延長とGoToキャンペーン後の新たな施策を提案

岐部 俊哉

令和の時代を生きる! 第8弾 2020 12「人づくり」は「町づくり」

7月豪雨災害の復旧復興に日々ご尽力くださっている各方面の方々に敬意を表します。また災害から丸5か月経過し令和2年の年の瀬を迎え、いまだ自宅に戻れずにいる方々や災害の傷跡に苦しむ方々には心からのお見舞いと早急に被災前の日常が取り戻せますようお祈り申し上げます。また、私もその一助となることを心掛け活動していく所存です。

農地・農業施設の本復旧がいかに困難か! 一目瞭然

H29年7月日田市での豪雨災害の復旧状況を大分県災害対策会議の報告書から見る

	着工率(%)	本復旧率(%)
道　路	87.0	59.3
河　川	93.7	50.9
砂　防	98.5	47.0
林地崩壊	100	0
農地・農業施設	43.8	9.8

※発災後1年の進捗状況

農地や農業用施設の本復旧に向け施策の改善を!

岐部 小規模災害復旧事業の工期の延長が必要ではないか。

町長 12月28日に締め切った小規模災害復旧事業は原則3月末までに工期終了となっているが、今後の申請状況を鑑み検討を重ねる。

岐部 災害復旧工事応札に向けて執行部の改善点は何か。

町長 現場管理者の兼任・兼務の条件と雇用条件を緩和した。また近接工事の取り扱いとして、各工事個所が2km以内であれば1件として扱うことができるようにした。

岐部 県の工事では兼務・兼任は直線距離で10km以内と大幅な条件緩和策がとられた。加えて特に水田の早期復旧に欠かせない流出した表土の調達・配布とまだまだ多くの改善点がある。今後の計画は。

町長 住民の意向を重視し前向きに取り組んでいく。

壊滅的な観光産業の復興に向けて町独自の施策を!

岐部 九州経済調査協会は大分県の観光客数は大きく増加傾向であると発表しているが町の現状の説明を求める。

町長 発表のとおり観光客数に関しては10月は昨年同期の8割11月は昨年同期を超えたと認識している。

岐部 現在の町が行っている5,000円の補助が好評な理由は何か。分析ができているか。

町長 GoToと併用可能としたことにより相乗効果をあげた。

筋湯温泉　うたせ湯(HPより)

岐部 観光客の誘致を考えるとリピーターと新規顧客の獲得が必須である。観光業への息の長い支援が必要ではないか。

災害復旧期であり財政の健全化が大切なことは重々承知の上で実現を強く願うが検討できないか。

Go To キャンペーン終了後 町独自の補助事業を展開する

町長 観光業復興の施策として前向きに検討する。

町政を質す 一般質問

岩尾　茂樹

財政問題（令和3年度当初予算等）について
（編成方針や経常収支比率等について）

…… 物件費を5%カット、事務事業の見直し、精査を指示した

歳出の決算額が70億円弱で、町税の収入総額が約12.6億円という決算状況と起債の返済（町の借金返済）に約7億円、維持管理費に約8億円の計約15億円の費用がかかって大きな負担となっている財政状況において

岩尾　令和3年度当初予算の編成方針について各課にどのような指示をしたか。

町長　経常収支比率を抑制するため物件費を5%カット、災害対応を優先するため土木事業関係等の抑制、ハード事業におけるローリング等の検討、事務事業の十分な精査を指示した。

岩尾　全体的に前年度当初予算比何%カットぐらいの大きな指示を出したほうが、分かりやすく危機感があって良かったのではないか。

以前、新たな大型事業が入ったからといって計画的に実施している単年度事業をやめるということはできにくいと答弁されたが、今回のような状況においても考え方に変わりはないか。

町長　全体的な状況の中で、削減するポイントはどこにあるのかということをやっている。全体の予算は歳出の部分も見ながら予算編成をすることが大事なことだと思っている。

岩尾　実質単年度収支（歳入に基金の取り崩し分を含まない収支）がここ数年赤字となっているが、どのように考えているか。

また、経常収支比率もここ数年悪化しているがその理由をどのように認識し、どのような改善策を考えているか。

町長　実質単年度収支については蓄えてきた基金を住民サービスの向上のために充てたので、マイナスとなることがあることも想定している。

経常収支比率については、今年度の災害費等で借り入れの可能性があり、公債費が増加し比率が上がる状況であるが、物件費の見直し等により低減に努めたいと考えている。

岩尾　実質公債費比率も、新たな起債を起こす以上に支払いをしているにもかかわらず、ここ数年悪化しているが、その理由と今後の対応をどのように考えているか。

町長　新たな起債の償還が始まると比率は悪化するので、起債に際しては、交付税に参入される優良債を活用していきたいと考えている。

岩尾　財政の健全化には、歳入を増やし歳出を削減することが必須であり、色々な施策が考えられるが、どのように考えているか。

最後に、被災された方々に対して町独自で上乗せ支援ができるよう、常に財政を豊かにするような運営とルールづくりを要望する。

町長　災害復旧、財政の健全化それと同時に町の活性化をより模索していかなければと考えている。

財政が懸念される九重町

7月豪雨災害の復興状況を問う

…… スピードを上げ復興に全力で取り組んでいる

野上　香代子

7月豪雨災害の復興状況について

家屋被害について

野上　家屋の公費解体を希望している件数は。

町長　22件である。

野上　公費解体した家屋はあるのか。

町長　10月から申請受付をし、現在11件の申請で来年2月までの申請受付。申請後1.2ヶ月で査定、その後入札、施工となる。

野上　自宅解体後の土地に住む事は出来るのか。

町長　出来る所と出来ない所がある。解体後に建替えを希望している人、町内他所に移り住む人、再建を希望しない人とある。

野上　元の場所に住めない人には町として対処してほしい。

町長　検討する。

野上　災害後、自宅に戻れていない人の把握は。

町長　把握できている。

戻れていない人は町営住宅に11件、親戚や間借が11件、日田、玖珠のアパートに各1件入居中である。

野上　経済的支援は行き届いているのか。

町長　被災者へ通知している。

野上　通知で終らず、しっかり支援してほしい。

町長　支援する。

中央5の被災家屋

野上　町道の通行止め箇所はまだあるのか。

町長　現在7箇所まだ通行止めである。

野上　早期復興を願う。

町長　スピードをもって取り組む。

野上　住宅が隣接する河川の早期復旧は

町長　人家の箇所の優先順位は高い。

調査、査定、設計、事業と進む。

現在査定、設計中のものが多い。

学校給食について

野上　佐伯市と互いの地域の農産物を学校給食で利用しようと連携を組んだと思うが、これまでの経過は。

教育長　給食の食材、メニューの充実を図ろうという目的で7月に佐伯市と連携を組んだ。

野上　これまでにどのような食材が提供されたか。

教育長　佐伯市からヒラメ。その他、姫島村から天然鯛の提供を受け、九重町から豊後牛を提供している。

野上　地産地消を願うが、九重町の食材の利用状況は。

教育長　米、豚肉、干し椎茸、ブルーベリーは100%である。他に、とうふ、こんにゃく、醤油等九重産を使用している。

野上　食に限らず佐伯市と児童の交流も考えているか。

教育長　学校間の交流も考えている。スキー体験や干物の七輪焼体験の予定もあり交流していく。

町政を質す 一般質問

菅原 美好

猪牟田ダム建設　再考を!

…… 県への要望を検討する

ダム建設を

菅原　平成12年11月、国が中止決定した猪牟田ダムの建設再考を。玖珠、日田など流域の市町と県に要望してはどうか。

町長　正式ではないが、話はしている。要望を検討していく。

県への要望書は

菅原　菅総理も就任の会見で「国土強靭化の推進」の中で、ダムの建設も必要と言っている。町長は日田市長、玖珠町長とともに県に、流域全体で抜本的な防災対策に取り組み、住民が将来にわたり安心して暮らしていく「流域治水」を盛り込む要望書を提出した。

町長　玖珠川の治水対策を全体で考え、整備計画を作成する。ダムの必要性を含め、県と一緒に考える。

猪牟田ダム予定地の碑

猪牟田ダム予定地の碑周辺の様子

7月豪雨災害の復旧は

菅原　町長は2期目の表明で、7月豪雨からの復旧は、河川の掘削や拡幅工事や治水調整のためのダムの建設も視野に災害に強い町づくりを進めると述べた。

町長　河川の土砂がたまって浅くなっている。予算が伴うが人家の近い所から、流域全体で考える。

大分市野津原にある「ななせダム」

3つの課題が達成

菅原　猪牟田ダムが建設されると、3つの課題が達成できるのでは。特に観光スポットとしてどうか。

①治水ダムとして、下流域の浸水被害の軽減又、常時一定した水量が粟野付近では流れる。

②湖面の側域に桜を植え、春は桜、秋はモミジなどの紅葉、湖にはボートを浮かべ、観光客の誘致に大吊橋、スキー場に続き、観光スポットとして期待がもてる。

③県道飯田高原中村線の代替道が開設され、毎年、大雨、台風など自然災害で通行止めも解消される。

町長　観光スポットとしての可能性はあると思う。

令和２年７月豪雨災害　復旧・復興へ

義援金ありがとうございました

全国の皆様から寄せられたお金です

大分県　9,936万円（大分県、日本赤十字社大分県支部、大分県共同募金会に寄せられた義援金は、県下被害状況により配分されました）
九重町　　1,601万30円
合　計　１億1,537万30円　　（10/31現在）

「令和２年７月豪雨災害被災者義援金配分委員会」で住居被害状況に応じた配分が決まり、迅速に支給されました。

住居被害状況

全壊	半壊	一部損壊	床下浸水	合計
7	78	47	54	186

（半壊には大規模半壊含む。一部損壊には準半壊含む）10/31現在

○他、国の被災者生活再建支援法または大分県災害被災者住宅再建支援制度により、床上浸水～全壊まで、５万円～300万円の支援があります。
○耕地に関しては、国の事業と町独自の小災害復旧事業の補助があります。

11/16

日出生台演習場対策特別委員会

11月16日、日出生台演習場対策特別委員会と由布市議会の防衛議員連盟との交流を行いました。

自衛隊湯布院駐屯地で、日本を取り巻く防衛の状況について司令の講話を聞いた後、駐屯地の装備を視察しました。その後由布市議会の防衛議員連盟との意見交換会を行い、駐屯地をかかえ活動の歴史の長い取り組み等を聞き、今後日出生台での米軍訓練等で不安を抱えている九重町民の安心安全を守るための活動につなげていけたらと思います。

12/16

議会広報特別委員会　研修報告

講師：日本写真家協会会員　川西正幸氏
12/16 議員控室にて

初めてのリモート講演会です！

通常は、毎年東京の大会場で、半日の研修が催されるのですが、今年はコロナ対策により中止。特別に無料で講演動画が見れることになりました。

広報委員は６人全員、一緒に議員控室にて、スクリーンに映る講師の話を傾聴。内容は、３種類のうちから「議会広報写真の実践！スキルアップ編」を選びました。写真の撮り方の基本や、議会広報作りにおけるポイントなど、的確な指摘とアドバイスに皆唸りつつ、大変勉強になりました。

わたしのひとこと

農業という生き方

野上　重原
高倉　祐仁さん

町内在住の方でも自分の事を知らない方が多いと思いますので、まずは自己紹介からさせて頂きます。野上在住、33才、職業は縁がありまして農業、栽培作物はトマトを40ａ、父、母、と3人で家族経営でやっており今年で9年目になります。自然相手の仕事なのでリスクがとても高く、難しい仕事ではありますが、逆にそこが面白いとこでもあります。何が面白いかというと、栽培期間中は常に1ケ月後、2ケ月月後をイメージして、自然を相手にうまくコントロール出来た時や高単価時に出荷量が増えた時、中でも1番は夏と秋で1年分を稼ぐ事ができ、冬は仕事をしなくていいところです。また農業は人として学ぶ事がとても多い仕事だと思います。自分は農業を通じて学んだ1番大切な事は、人間は常に何かの犠牲がないと生きられない存在だという事です。当たり前の事ではありますが、そんな当たり前の事に気づきにくくなっているのが現代だと思います。1日1日を生きているんではなく、生かしていただいている事に感謝をして、今後も農業という人生を邁進していきます。

おいしそうでしょう

自然を感じる長者原

飯田　中村下一
冨田　絹子さん

十二月の暖かい日にタデ原湿原を歩くと、木道の両側の草が刈り取られ、春に行われる野焼きの準備が整っていました。

自然研究路までいくと、足元には、「ツルシキミ」が緑の葉と赤い実をつけて咲いていたり、落葉した木々の姿や時折見かける鳥の巣箱の場所がよくわかり、野鳥のヒナの誕生も楽しみです。

長者原は間近に「三俣山」「指山」などの山を見れる場所です。訪れる人の多くがこの山の迫力に圧倒され、スマホやカメラを向け撮影をしていきます。

この時期の天気のよい日の夕暮れは、三俣と指山にスポットライトをあてたように山が明るく見え、夕日が頂上に向かってその部分が少しずつ赤く小さくなっていく様子がきれいです。

このすばらしい自然と風景をみんなで守り、大切にしていかなければならないと思いました。

やまなみハイウェイから九重連山をのぞむ

傍聴へどうぞ　次回は3月です

バトンをつなぐ　第8回

議員リレー

⑧ 佐藤明郎

今年、年男となり、議員活動も10年を経過させていただきました。

町民の安心、安全を最優先に財政面にも気を配って来ました。

今回の被災、自分の無力さと共に、行政と町民、協働の必要性を改めて痛感させられました。

12月議会の補正を含め、120億を超える予算となり、通年の5割強も大きな額なっております。

被災者のために早急な復興と財政健全化、相反する両立のため、町民の意思を代表する機関の一員として、今まで以上に責任を感じる新年となりました。

地区リレー

南山田

南山田くらしのサポートセンターたちあがる！

東飯田

貴船神社の年越し掃除（元旦行事は止む無く中止）

議会クイズ

九重町議会議員の勤務時間や日数は決まっているの？

①8時30分～17時（役場職員に準ずる）
②10時～19時（週休1日）
③特に決まっていない（フリー）

（答え）4ページを見てくださいね

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局：76−3814】

令和3年1月15日
発行／九重町議会　編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ **0973-76-3814**・FAX **0973-76-3809**
メール（議会事務局）**gikai@town.kokonoe.lg.jp**

編集後記

楽しく読みやすい議会だより、議会を身近に感じられる広報をめざして、この2年間取り組んで参りましたが、皆さまいかがだったでしょうか？

広報委員長としては今回が最後の号となりました。

定例会後なるべく早く発行するために非常に慌ただしい工程にもかかわらず、委員の皆さんのご協力で作業も楽しく順調に進めることができました。また多くの方から読後の感想をお寄せいただき、大変感謝しております。皆さまありがとうございました。

新年が明るく希望の年になりますように！

増田　裕子

広報委員長　増田　裕子
副委員長　麻生　良典
委員　有吉　富生
委員　佐藤　明郎
委員　岐部　俊哉
委員　野上香代子